

「私たちは祝福されなければならない」

～権利のない者の証～

ローマ11章1節～24節

1節では、パウロが、ユダヤ人の救いと異邦人の救いのタイムラグについて、自分がどんな状況で生きているかと言うことを、ベニヤミン族の出身であるということの説明をしています。

2節～4節では、エリアがどういう生き方をしたかということが出てきます。神様はご自分の民（イスラエルの民）を退けたのではなくて、今その時を、別の計画のために待っているということを伝えたくてこのようなことが書かれています。確かにイスラエルは、たくさんの人が一度に救われたわけではありません。エリアは、バアルとアシュラの大量の預言者を目の前に、一人で戦ったのです。彼は落ち込みました。強い権力をもつ王妃アープにも命を狙われ、エリアは遠くまで逃げエニシダの木の中で隠れていました。そこで彼は死にたい、こんなに頑張っているのに、私だけが残されましたと叫びました。しかし神様は、バアルにひざをかかめてはいけません。男子七千人を残してあるとお答えになりました。これは、パウロや当時イエス様を信じようとしたユダヤ人に対して、また自分たちがユダヤ人達は神様を見捨てて自分たちが救われたという異邦人に対して、パウロが伝えたかったメッセージです。パウロは12人の兄弟がいましたが、兄弟の中で唯一イスラエルで生まれました。そして自分は生粋のユダヤ人であって、特に愛されたベニヤミンの子孫である。神様がユダヤ人を見捨てたわけではないので、私もユダヤ人を見捨てていないが、異邦人に仕えているということ伝えていきます。

5節では、ユダヤ人全員が救われるわけではないが、七千人選ばれて残された者がいると説明をしています。ご自分の民を退けてしまわれたのではないというのは、イスラエルの人のことを言っています。

10節に出てくる「倒れる」の意味は、「二度と起き上がれない」です。ここでは、「私たちはつまずいて倒れかけるが、ひどい倒れ方で終わらない」という御言葉に対する反対のメッセージを言っています。彼らはもう倒れて起き上がれないのでしょうか。

彼らがどうやって救われるかという、私たちが神様に愛されるのを見て、彼らを妬ましくさせて、その中から救われる人が起こるようにさせています。創世記から世の終わりの神の計画は、ねたみによって完成されるのです。マタイ24章に書かれていることが起こり、地震に天災に、地球が自らを保てない状態になり、人が作った物で地球は滅びようとしています。そのときに神の永遠の計画成し遂げられます。だからこそ、私達は祝福されなければなりません。その理由が11章に書かれています。ユダヤ人にとって私たちがクリスチャンであることは、妬みなのです。彼らは、私たちがクリスチャンのように祝福されなければよいのです。だから11章は今教会時代である私たちにどうあるべきかを語っています。

12節で書かれている「彼らの違反が世界の富になった」というのは、異邦人は救われる予定でないのに救われたからです。しかし神様は旧約聖書の創世記の時代から、この計画を建てておられたことがここから分かります。彼らの違反や失敗がどんなにすばらしいものをもたらすかをパウロが2千年前にあなたに遺言として残しています。パウロは、自分がユダヤ人の中でも神からとことん愛されたユダヤ人で、そんな自分があなたがたのために愛をもって宣教する1つの理由は、あなた方が神を信じて祝福されることを通して、彼らが妬みをもって救われることを願っていると言っています。

17節で出てくる「台木の枝」とは、ユダヤ人のことです。

接ぎ木とはたいいてい悪い幹によい幹を接ぐのですが、御言葉は逆で、よい木に悪い枝をつないだと言っています。それがあなたです。神様というすばらしい木に悪い枝をつないで、悪い実を实らせた。しかしキリストの十字架でよい実が実る奇跡が起きるのです。キリストの十字架が接ぎ木に奇跡をもたらせて実がなると下に落ちていた枝達（神様の恵みを受けないで離れたユダヤ人達）がうらやましいと思うのです。私たちは、この地にあつて祝福されないと、あなたの周りで接ぎ木されようかどうかどうしようかと思っている人が来ないし、また、これから枯れようとして待っているユダヤ人が、クリスチャンが祝福されないのを見て、イエス様は偽物だと言うのです。イエス様の偽物宣告をしてはいけません。皆さんは何をしてでも、イエス様を伝えているでしょうか。どんな方法でもいいからイエス様を伝えるために自分が祝福されようとして生きているでしょうか。私たちは、祝福されなければならないのです。

■ 幸いであれ!!!

マタイの福音書の中で、心の貧しい者（霊的乞食）は幸いになるのだと言っています。聖書の中では、ベニヤミンもヨセフもみんな本来恵みを受ける立場にありませんでした。ダビデは兄弟の中で、兄弟の一人と数えられていませんでしたが、祝福されて王になり、豊かに栄えます。このように、本来祝福されるような状況でなかった人が回復されることを通して、人々の証になり、うらやましいと思われるクリスチャンになるのです。それが生きた証だと聖書は言っています。そしてその姿を見て、神の計画は完成するのです。あなたが祝福されないといけないのです。祝福とは、あなたの必要に応じて満たされます。不要なものはあなたのところにはきません。神様は先を見通しているのです。先を見ている一人一人の人生を通して、そのすべてを合わせて1つのことをしようとしています。皆さんの人生は、神に従わなくてはなりません。

御言葉はあなたの近くに

御言葉は、あなたの口に、心に。あなたは幸せでなくてはなりません。そのためには、あなたの近くにあるだけの御言葉では弱いのです。ダビデは5つの御言葉で、どんなに問題が大きくても乗り切っていました。私たちはいざというときに御言葉がなめらかに出てこないといけません。是非神様の前に立って、御言葉を覚え、あなたの口と心に保って、そして祝福されてください。すると多くの人はあなたをうらやましいと思い、神の計画であるユダヤの人たちに救いがもたらされて、最期にこの地に神様が迎えに来るときが来るのです。御言葉を実践するものとなり、祝福される者になりましょう！人たちに救いがもたらされて、最期にこの地に神様が迎えに来るときが来るのです。御言葉を実践するものとなり、祝福される者になりましょう！

（要約者：浅野 恵子）

（2019年9月29日）